

妙金ナス（伝統野菜）

勝山市妙金島地区で明治の中頃から栽培している長さ10cm程度のやや小ぶりのナスです。肉質が締まっており、歯ごたえのあるナスとして地元で愛されています。



1 生産概況

① 生産地

勝山市妙金島地区の農家5戸程度で栽培しています。

②栽培の概要

品 種：妙金ナス

作 型：5月に定植し、7月から11月にかけて収穫。市内スーパーの地場産コーナーなどで販売しています。こうじ漬けにも加工し販売しています。

その他：地区の農家2戸が自家種を採取しており、伝統野菜として品種の維持を図っています。

